

飛翔 2018



大野高校通信

発行責任者: 校長 清川 義彦

平成30年度 **卒業式**



3月1日
42名の卒業生が
大野高校から巣立っていきました

自分の進むべき道を自分の力で決めることができました



それぞれの道で
輝く未来を切り開け



お世話になったすべての皆様に感謝します!



大野高校とこの地を支える人材に



かけがえのない友との出会いを宝に さらなる成長を

— 校長式辞 (抜粋) —

卒業証書を授与されました四十二名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。/皆さんは、本校の校是である「誠意・進取・創造」を心の拠り所として、学習、部活動に真摯に取り組み、生涯の友と貴重な時間を過ごし、行事やボランティア活動に燃え、地域を支える大きな力として期待に応えてきました。そして、これからの自分が進む道を自分の力で決めることができました。これは、皆さん一人ひとりの精進努力の賜ではありますが、同時に、暖かい愛情をもって励まし支えてこられましたご家族や、同窓会、洋野町をはじめ多くの方々のご支援やご援助のおかげでもあります。どうか皆様から受けたご恩に報いること・感謝の気持ちを持つことを決して忘れないでください。/これから、皆さんを待ち受ける世界は、先が全く見えない、厳しい混迷の世界とも言われています。そういう大変な中であっても恐れずにいろんなことにチャレンジしてください。そして「人との出会い」を大切にしながら、「他者を受け入れ、共感する心」を持ち続けてください。/まもなく、三十年続いた平成の時代に幕を閉じ、5月から新時代が始まります。日本がそのような歴史的な大転換を迎えるときに、時を同じくして、社会に飛び立とうとしている皆さんには、運命的なものを感じ、大きな期待感を抱かずにはいられません。/それぞれが進む世界で、無限に広がる可能性を信じ、輝き続けてください。そして、将来、生まれ育ったこの地を守り、大野高校の未来をしっかりと支えていく使命を自覚し、さらに大きな人間に成長してくれることを願っています。/この創立七十周年という本校の歴史の大きな通過点に、皆さんと出会えたこと、そして毎日の学校生活を過ごした時間は、我々教職員にとっても かけがえのないものとして、一生大切にしていきたいと思えます。/ここ大野の里から 夢と理想の大きな翼を広げ 羽ばたいていく皆さんの前途を祝し、式辞といたします。

●個人表彰受賞者

皆勤賞【3年間】 8名

- | | |
|-----------|----------|
| 3A 太内田 稚奈 | 3B 塩倉 湊人 |
| 奥寺 諒 | 榎木澤 誠也 |
| 金澤 壮瑠 | 西 亮馨 |
| 須田 桃夏 | 森外 浩平 |

本当によく頑張りました! おめでとう!

精勤賞【3年間】 1名

3A 宇名澤 悠太

3年間支えてくださったご家庭の皆様へ感謝いたします。



◆2019年度 定期人事異動 転出者あいさつ◆

●校長 清川 義彦 (在職1年) ⇒ 県教委 保健体育課 総括課長

わずか1年間でしたが、地域の皆様に支えていただきながら、この素晴らしい生徒諸君とともに過ごすことができ、大変幸せでした。大野高校の誇りは、70年という歴史の中で「ひとづくり」がしっかり継承されていることだと思います。4月からは、生徒がいない、とても寂しい職場での勤務となりますが、いつまでも大野高校とこの地域の応援団としてエールを送り続けていきたいと思っています。

「地域を支え」「地域を愛し」「小規模校でも出来ること」「大野だからこそ出来ること」を進め、これからも大野高校が地域のシンボルとして、輝き続けていくことをお祈りしています。

お世話になりました。ありがとうございました。



●副校長 青木 裕信 (在職2年) ⇒ 盛岡第一高等学校 副校長

2年間お世話になりました。4月に見た生徒の姿と3月に見る生徒の姿が全く違い、その成長に驚く2年でした。保護者の皆さま、地域の皆さまにはいろいろな場面でご協力いただき、感謝に堪えません。ありがとうございます。

赴任当時から、地域との関わりが強さを強く感じていましたが、北奥羽ナニャドヤラ大会、洋野町駅伝大会への生徒参加率の高さには驚かされました。洋野町駅伝大会で走ったとき、沿道から多くの方々に応援していただいたことが昨日のこのように思い出されます。

「地域とともにある学校」、大野高校のますますの発展を祈っています。

●小坂 信彦 (在職14年) ⇒ 退職

平成17年4月から14年間英語指導と卓球部顧問をさせていただきました。前任校の水沢高校では、大野高校と幾度となく高校総体や選抜大会の決勝で戦ったこともあり、赴任当初は自分の気持ちの中ではいささか居心地の悪いものを感じておりました。しかし、生徒たちは授業でも部活動でもすぐに私を受け入れてくれ、楽しくまた賑やかな雰囲気の中で学校生活を送ることができました。

私の思い出は、卓球部の活躍に尽きます。平成17年度高校総体男子団体優勝、平成21年度高校総体女子団体初優勝、平成25年度インターハイ女子ダブルス5位、同年東北選抜大会女子団体初優勝、同年全国選抜大会女子団体3位、平成28年度東北選手権女子団体優勝など。これらの栄光の記録は、県北の小規模校である本校の卒業生が成し遂げたものです。本校の教育環境は決して恵まれたものではありませんが、日々努力を重ねればどんな目標でも達成できるのです。生徒のみならず、努力を惜しまず時間を大切に学校生活を送り、夢の実現を成し遂げてください。長い間本当にお世話になりました。



●吉田 憲司 (在職5年) ⇒ 軽米高等学校

平成26年度に大野高校へ赴任してから5年間お世話になりました。担当学年も1、2、3年生と担任をして平成28年度に卒業生を見送り、平成29年度から1、2年生と二周りする勢いで担任をさせていただきました。大野高校に来てから、学級経営の方針を変えてみました。ICTを活用した授業も始めました。私自身、色々な成長の機会を頂いたと感謝しております。生徒をはじめ保護者や地域の方にも恵まれ、とても充実した5年間を過ごさせて頂いたと思います。本当にありがとうございました。

●佐々木 俊樹 (在職4年) ⇒ 一関第一高等学校

大野では平成27年4月に赴任して以来、4年間お世話になりました。初めての県北勤務でもあり、不安を多く抱えた中でのスタートでしたが、優しく素直な生徒たちと一緒に、充実した時間を過ごすことができました。授業や部活動、学校行事でも決して妥協せず生徒たちと向き合い、ともに高め合い、生徒たちからたくさんのお話を学びました。特にも私自身が担当させて頂いた今年の卒業生とともに、大野高校を旅立つことは非常に感慨深いものがあります。また、赴任当時の下町校長の紹介もあり、多くの地域の皆様にお会いして、大野という地域、そして人の温かさにも触れることもたくさんありました。大野に育てていただいたことに誇りを持って、今後の教員人生を歩んでいきたいと思っています。ありがとうございました。



●遠藤 雄大 (在職1年) ⇒ 久慈工業高等学校

平成30年4月に赴任してから1年間お世話になりました。短い間でしたが、とても楽しい、有意義な時間を過ごすことができました。生徒たちとともに走り回り、生徒たちとともにたくさん学ぶことのできた一年間でした。大野はとても暖かみのある地域で、一年間、活力をいただきました。ありがとうございました。

皆様のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。今後とも大野高校をよろしくお願いいたします！